

区民と区長の対話集会
「さとことブレスト」(第5回)

令和4年12月10日(土)

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第5回 さとことブレスト

開催場所：令和4年12月10日（土） 午前10時00分～午後12時30分
場所：西荻地域区民センター（勤労福祉会館）第三、第四集会室
参加対象者：一般応募者（西荻）
参加者人数：16名（応募者：44名）

◆事前企画 補助132号線（北銀座通り）を実際に歩こう！

さとことブレスト前に、みんなで実際の道路を歩いて、事前に話題を共有することで、ブレストの時間を充実させる目的で実施。

JR西荻窪駅北口から会場である西荻地区区民センターまで歩きました。

参加者人数：8名

◆ブレインストーミング

1班5人ずつA班からD班の4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の3点の内容を中心にブレスト

- ①まちづくりの関心事はどこにあるか
- ②道路について、どうあると良いか
- ③今後のまちづくりや道路整備の進め方

○アイスブレイク

日本や海外で最近行われている人中心のまちづくり・道路づくりの事例紹介。

- ・まちづくり・道づくりの最近の動向
- ・関連法規・制度
- ・全国の事例

○後半は、西荻窪のまちづくりと関連付けた道に関する、自由な考え・アイデアについてブレスト。

○ブレスト終了後、班ごとに発表。

○全体での意見交換

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

各班の発表内容

■ A班

- ・西荻は個人のお店が多く、ほっとする良さがある。そういった魅力を分かってくれる方がいて、長年住まわれている方の感想として最近人口・駅から降りる人が増えたという話があった。
- ・西荻の魅力を保全するようなまちづくりであってほしい。
- ・西荻は車を中心ではなく人が中心のまちであると良い。
- ・他のエリアに比べれば車の交通量が少なく歩きやすい場所が多い。
- ・当該計画路線については生活道路だと思う。
- ・人の歩く権利、社会資本としての道路であってほしい。
- ・今回の道路整備にかかる建設費は無駄だと思う。区の考えを聞きたい。
- ・何を考えて拡張しているのかというのが住民側にはよくわかっていない。議論して理解することが出来れば折り合いも付けられるのではないか。決定のプロセスにどう落とし込んでいくか。歩行者・運転者それぞれの考えを聞いてみんなで「こういう道にしたいね」という話し合いのプロセスがあると、結論がたとえ同じだとしても納得感が増すのではないか。
- ・個性的なお店が多いので、そういったお店が存続できるまちづくりだと良い。
- ・宇沢弘文先生の「社会的共通資本としてのまちづくり」という言葉があって、西荻でもそんなようなことを考えていけると良いと思った。
- ・今現時点での区道に関しては、好きな場所だけでも安心して歩くことができない。特にベビーカーの利用者や小さいお子様がいる人にとってはボーっと歩くことができないところがあるので、人との出会いも含めて楽しく安全に歩ける道であると良い。
- ・誰がそもそも道路を広げたいと言っているのか。広げたいと思っている人の意見を聞かないとそもそも議論にならないのではないか。
- ・防災・防火という観点では道路拡幅以外にももっと優先してやるべきことがあるのではないか。
- ・計画当時と今では防災の基準がそもそも違うので、その計画は大丈夫なのか。
- ・計画を止めるという選択肢もあるべきで、その勇気も持つべきなのではないか。
- ・今の区道の問題のある箇所をみんなでちゃんと見てその目線で問題点を探ることが大切なのではないか。
- ・車と人と自転車をセットにして、どういったことが最適なのかを考えることが必要。
- ・ウォークアブル、ノンウォークアブルな場所はどこなのかというのを考えては。
- ・それぞれが自分の家を建て替えなければいけないのではなく、近隣の他の家と共同建て替えを行うみちづくりの話が上がった。
- ・マンションが建ち並ぶことになったときに、マンションの入り口ばかりが並ぶような道になってしまうと商店街っぽさがなくなってしまい寂しい。商店街っぽさを残せるように工夫できないか。

- ・紹介されたウォークブルシティの事例は、西荻らしさとは異なる気がした。
- ・人を集めたいとなったときに、どういう人に西荻に来てもらいたいのか。
- ・駅前一点豪華主義になると、人が回遊しない、まち歩きにはつながりにくいのではないか。
- ・整備するのであれば無電柱化は必須。
- ・銀座通りのように、ガードレールをなくした方が良い。
- ・子育て中の人利用しやすいようなまちづくり・みちづくりとして、授乳室やおむつ替えスペースが今は少ないので、あると安心する。
- ・歩道側に自転車道があると良い。今の環八等の自転車道の在り方はかなり危険。

■ B班

- ・個人商店が多いことが「西荻らしさ」なので、できるだけ商店を残す形で進めてほしい。
- ・荻窪や吉祥寺と同じではつまらない。
- ・区民、住民が主導して方向性を決め、区は一緒に進める必要がある。
- ・無電柱化をしてほしい。
- ・計画には費用と時間がかかり、すぐにできるものではない。歩いている空き地が多いと寂しさを感じる。この空き地は活用できる。将来的に計画がどうなるのかは時間がかかる話なので分からないが、過程で空き地を有効活用する。キッチンカーや街路樹周りの椅子等、人の憩いの場となるような場所作りをしてほしい。
- ・道路整備の中で、歩行者と自転車、自動車の三者を両立させる必要はない。自転車を通さなくして、どこかで降りて歩いて行ける形にし、できるだけ歩行者を増やす。必ずしも駐輪場を駅前に作る必要はなく、まちの端（はずれたところ）に作り、そこからスタートして歩き始める町になればよい。
- ・まちあるきを終え、坂道が多いため高齢者にとってきついのではという印象を受けた。街路樹の下に椅子を設け、休める所が要所、要所にあるとよい。
- ・西荻のコンセプトは、椅子に座り、「たい焼きが温かいうちに食べられるような町」「アイスが溶けないうちに食べられる町」だと、イメージがしやすくてよいのではと思う。

■ C班

- ・今の良さを残しながら非常時と日常時、両方うまくいくような町にしたい。
- ・今回のような対話の交流会を設けていただくと非常に有効。それから合意形成を図っていく。ビジュアル化も大切。
- ・整備した後の運営をどうするかが大事。運営する方を含めて一緒にしていくことが、出来上がった後もうまく回っていく上では大事。
- ・住んでいる人、お店、ここに来る人皆にメリットがないと合意形成できない。

- ・道路を含めたこの場所にどういう機能が必要かという、滞在できる道、フェーズに関わりなく利用出来る場所、困ったときに助けてもらえるような場所であるといい。
ベンチ、AED、消火栓などのスポットが分かりやすく設置されているといい。
- ・無電柱化してすっきりした街にしたい。
- ・道路を公共空間の一つとして捉える。
- ・自転車とどう共存するか。自転車置き場も問題。駅前道路予定地だけでなく広い範囲で役割分担、機能分担など考えていったらどうか。
- ・事業決定しているのが青梅街道に近いところだが、駅前の方が問題あるのではないか。アーケードはあの上までいいのか、タクシー乗り場の高架下が暗いなど課題がある。
- ・愛されるお店をどう残していくか。
- ・計画が進んでいて歯抜けになった土地を積極的に使ってパブリックスペースとして活用する。
- ・空き地や、個人の方の土地を自転車置き場として貸してもいいのではないか。
- ・地下に駐輪場を作ってもいいのでは。
- ・緑を積極的に公共空間に導入するといい。

■ D班

- ・幼少期から杉並区に住んでいる方、途中から引っ越してきた方などが感じている区やまちへの思い、感じられている変化に関する話から始まった。
- ・同じ西荻でも感じ方は人それぞれで違いがあると思う。自分が好きな西荻も変わり果てた後の西荻だと思う。
- ・今回出た話を道路の安全性のこと、何を残したいのか、未来へのビジョンに括ってみた。安全性については要素が複合的であるということをもっと多くの人を知るべき。車にとっては歩行者や自転車が怖い。歩行者や自転車にとっては車が怖い。ベビーカーを使用する人にとっては段差が少ないにこしたことはない。段差を減らし過ぎると白い杖をついている人にとっては不便な要素がある。段差がなくなり、拡幅された道ばかりになるとそれはそれで殺風景かもしれない。つまり、色んな要素から道路を考えた時に広げさえすれば安心というのはあまりにも短絡的すぎる。
- ・残したいのは個人店の多さ。どうして個人店が多いのか考えた時に、土日祝日快速が停まらないというの見方を変えれば強み。もし土日祝日も快速が停まり、道路が広がって車がたくさん入ってこようものなら、もしかしたら今より大資本が参入しやすくなるかもしれない。大資本そのものを否定するものでないにしろ、大資本やチェーン店が今以上に増えてしまった時に、このまちの特色というか西荻・杉並らしさはどこに行ってしまうのかといった話になった。
- ・便利だったら良いというわけではなくて、心地よい不便さが西荻の緩さ・楽しさに繋がっているのではと思った。
- ・新自由主義にこれ以上のみ込まれにくいようなまちであるためには、道路は広げるべきなのかどうなのかといった視点も持ってみた方が良い。
- ・道の未来のビジョンだが、ウォーカブルシティの事例は参考になったが、海外はまちの作り

がもっと大振りであるため、西荻商店街で考えた時になかなかモデルがないと思った。この際住宅地版のモデルを西荻で作ってしまえばよいのではないか。

- ・空きスペースをどう使うかという時にキッチンカー、ベンチ、みどり、駐輪場をもっと増やすなど。宅配の問題もあり、業者は駐車するのに苦労している。住民が呼んでおいて邪魔だと感じることもある。空きスペースに業者の車を仮駐車しやすいような状態にして、あとは台車で住宅地の中に入っていきやすいようにするといった話も出た。
- ・駅前が安全でないといった話があって、マイロード、伏見通等などの整備を考えても良いのではないか。
- ・宅配業者や自転車の件や駅前の道路横断の話など、個別の問題は個別に紐解いていく必要がある。

■その他、全体を通しての意見等

- ・全体を通して、個人商店が残る西荻らしい町がわりと共通認識としてもっている印象を受けた。個人商店が残るためにどういった政策を行い、知恵を絞るとよいかを区民と行政が考えていけたらと思う。どうやれば納得して、個人商店が道路拡幅後も商売を続けられるのかということについて、知恵を絞って考えていけたらと思った。

岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

- ・お集まりの皆様へのお礼。
- ・私にとっては毎回そうだが、どのテーブルからも学びとか、ひらめきとかをいただいた。皆さんにとってもそうであったと思う。
- ・皆さんが上手に発表でまとめてくれたと思う。発表も興味深く聞いていた。全ての班に行っているので断片を聞いており、まとめることはできないが、なるべくみんなの意見を束ねながら発表していく技術はすごいことだと思う。
- ・西荻、高円寺もそうだが、（まちづくりに関する話し合いなどの）トレーニングの機会を持つことで上達していく。私たちグループとしての成長もあるのではないかと思う。素晴らしさに感銘した。
- ・今日は「公共空間（Public Space）」というキーワードがとても心に残った。道路を拓げることによって、公共空間としての自由度が増える。当然、安全性とか色々な機能がきちんと分けられたり、樹木ができたり、もしくはウォークアブルの例にあったように色々なスペースが生まれていく可能性がある。
- ・その一方で道路を拓げて公共空間が拓がったときに、やはり今ある姿をどうするかということ。個人商店が残れる、そしてそれが盛り上がる、というのが西荻らしさだとすれば、道路が拓がったことによって、そのままにしておいたら、高層の建物、マンションが建って、マンション通りになってしまうんじゃないか、という不安感がある。
- ・そうなる西荻のまちづくり、道づくりは、公共空間を拓げるにしても、拓げないにしても、住んでいる人たちが一緒に計画を立てて、協働で考えていくことでしかあり得ないのかな、というのが当然と言えば当然だが、強く皆さんの議論から感じた。
- ・住んでいる人がたとえ土地の半分を売ったとしても、残れるためには共同建築、共同建て替えなど、（道路計画線から）少し後ろに下がって集合住宅を一緒に作る。そしてそこに元の店舗が戻れるような合意形成を地域の方が主導でやって、それを行政が支えていくような政策のところまでいけるのかというお話もあった。
- ・こういうことをやっていこうとすると、話し合いとか対話とか計画とか、住んでいる方と「こういうものが作りたい」というコミットメントが重要だと思った。
- ・そして行政としては、どういうビジョンなのかをビジュアル化、見える化していかないとならない責任がある。色々なチョイスがあるので、絵に描いて見せないとイメージがわからないし、そういう努力をもっともっとしなければならぬのだろうと思いつつ皆さんの議論を聞いていた。
- ・今年度、西荻は四回目で最終回だが、これは始まりだと思っている。3月のシンポジウムに向けて、今までの議論を発表していくというのものもあるが、これは始まりであって、皆さんの愛する西荻と西荻らしさ、新しい時代の道路をどうしていきたいかということと共に考えて参りたい。

(ブレインストーミングで出たご意見)

- ・宇沢弘文先生も仰っているように、社会的共通資本としてのまちづくりが成されることが理想。
- ・計画を見て一体、区は何を考えてこの道路を拡幅しようとしているのかというのが分からない。区としての考えを聞きたい。
- ・なぜこんな無駄なことをやるのか。
- ・これまでは健康ですたすた歩けるので何も考えずに歩いてきたが、子育てでベビーカーを使用するようになってから道のことが気になりました。「ここガタつきがあるな」、「トラックの出入りがあるな」等が気になるようになってきた。
- ・人は歩くということが基本的な機能、権利。二足歩行の人間というものを中心に考えた場合、安全で自由に歩けるという状況が求められる。宇沢弘文著『自動車の社会的費用』でも歩行の大事さについて述べられていた。人間存在というのを改めて考え直し、そういうフレンドリーな道路の在り方を考えては。
- ・ウォークアブルシティはアメリカの街区を前提とした議論。日本の狭隘な道路を前提とし、また、区画整理が入っていないところもあるわけなので、ウォークアブルは結構だがそれ自体を考え直すことは必要ではないか。
- ・自動車に乗らなくなっている若者も多い。改めて歩行というものを大事に考えるべきなのではないか。
- ・本来、一方通行を入れれば相当自動車の制御をできるが、相変わらず対面で危ない。
- ・確かにガードレールはあるしマナーも良くなっていて事故は少なくなっているが、みんな気にして歩いている。
- ・ボーっと歩けない。もっとボーっと歩きたい。
- ・道路のデザインはもっと改善の余地があるのではないか。
- ・基本に戻り、歩行者にとっての道路を第一に考えるべきなのでは。
- ・すごく好きな場所ではあるけれども歩きづらいし、小さい子を連れて歩く際にはボーっとできない。すれ違いにもすごく気を遣う。
- ・歩行者・自転車利用者が安心して歩ける・利用できる道、ぷらぷらできる道は西荻らしいなどという感じがする。ぷらぷら歩きながら小さな個人商店に立ち寄れて、生活者にとっていい道なので、ここの良さを活かしながらお店の人も歩行者もハッピーで、車の人も歩行者に気を遣いすぎなくて済むような形があると良いなと思った。

- ・今の計画は車優先な気がする。
 - ・運転者の立場を考えると、道路が狭いので自転車利用者やベビーカーの方がいる時は結構ヒヤヒヤするんじゃないか。バスの方も大変だと思う。
 - ・西荻は個人商店が多く、それぞれ個性があって色んな夢を抱いている方が小さいお店を出していてすごく良いなと思う。
 - ・車がバンバン通って広い駐車場があつてというような生活ではないまちだと思っていて、そこがいま気に入っている。そこに住んでいる人・お店をやっている人が中心のまちであると嬉しい。
-
- ・昔は商店がもっと色々あつた。
 - ・古いお店は多かったが、最近の方が飲み屋さんとかは増えている。
 - ・骨董通りとかも面白いお店がいっぱいある。お店ができたのは結構最近だと思う。西荻にああいったお店は映える。今のまちの環境自体がああいうお店が来ても溶け込めるようなまちの風情、つくり方になっているように思う。それを活かしながらということが大事なのではないか。
-
- ・道路には種類があり、高速自動車国道、国道（国管理）、国道（都道府県管理）、都道府県道、市町村道がある。高速道路が、早く遠くに行くために必要な機能を持っているというようにそれぞれ道路には役割がある。
 - ・区道は生活道路である。人々が生活するための道路。それぞれ町の特色が出る。西荻なら西荻の特色を活かした道路ってどんな道路なのか。
-
- ・40年住んで感じたのは、西荻の人口はすごく増えたと思う。西荻の駅で夕方降りる人は昔と比べすごくたくさんの方が降りている。恐らく夜間の人口が増えて、普通に生活している人がすごく増えている印象。その賑わいを保つためには商店が維持されることが大事で、住んでいる人にとっては安全に通行できる道路が必要だと思う。
 - ・西荻は通過する車も少ない、区道を走っている車の数も少ないので他のところに比べると歩きやすいエリアだとは思ふ。もう少しその良さをさらに伸ばすような道路づくり、まちづくりが西荻には合っているのではないか。
-
- ・車側にとって一番いいようにするには、どのようにすれば良いのかという視点と、歩く人にとってこうあってほしいという視点。共存する道の在り方があると良いなと思う。どっちかだけがということはないと思う。
-
- ・道路幅幅の一番の理由というのは、火が飛ばないようにということでそれはその方が良く思いつつ、それであれば他のところに火が飛んでしまうかもしれないし、防災という視点ではこの道路幅幅はその中の一つというだけで、もっと色々な要素がある中でやっていくものだと思う。
 - ・道を歩いていて近所の方同士で挨拶をし合っていて、そういうのは良いなと思った。そういう

人との出会い、ばったり会える、みたいな人とのつながりは、めぐりめぐって防災とかにもつながるのかなと思う。

- ・西日本豪雨の際に被災した経験がある。インフラは防災向けではなかったが、地域の人達で力を合わせないと住めない地域だったため、井戸の場所をシェアするマップを作ったり、バイクに乗れる人が上の方まで水を汲んで断水中のところに持って行ったりとか、そういったことでなんとなく絶望せずに済んだ。
- ・車が通る必要があつて、それが私たち住民にもその必要性が分かるのであれば、「じゃあこういう風に、この道はしていかなきゃいけないね」って納得し合えると思う。
- ・車にとっての視点もあるけれども、生活者の視点としてここは歩いたり、できればポーっとしたり、挨拶したり、立ち話したりとかができる道で、西荻にはあつてほしい場所。
- ・住民・自動車利用者等それぞれの論理が出てきたところで、何らかの歩み寄りがあつて、そうすると双方にとって納得性が出てくる。多分そういうプロセスの中に本当の理由というか、上意下達ではない根拠が見出せれば計画も先に進むことになるのではないかなと思う。
- ・決定が同じでも、それぞれの「この道はこうあつてほしい」論理が開示されそういったところが分かればそのコミュニケーションの中で、双方譲れないところはあるかもしれないがそういったプロセスがあるだけで納得がし易い。プロセスを踏むことで、こういう道にしたいねっていうのができると西荻らしいなと思う。
- ・決定のプロセスにどういう風に落とし込むか。
- ・一体誰が道路を広げたいと言っているのか。それが分からない。ディスカッションしようにも、道路を広げたいという人の意見が無ければディスカッションできない。
- ・なぜ広げる必要があるのかというのを知りたい。
- ・防災の話は聞いたが、防災だけの視点だと、そもそものまちづくり（密集している状態からどうするのか等）から考える必要がある。
- ・防災って道路を広げるだけではなくて、例えば高いビルを建てても防災になる。色々なやり方があつて、道路を広げるのが一番楽は楽。品川や港区など道路に面して高い建物が建っているところは防火の建物で防災。木密地域の火移りだけ止めても横は狭いので、もっと広げないと。例えばセットバックして4mに全部しましようっていう取り組みをやっているが、防災・防火の話をするのであれば当該エリアを広げるよりそっちの方が先ではないか。
- ・顔が見える関係性で、災害時にどういう風に声掛けをして逃げられるかというの也需要。
- ・道路を広げたいという人の意見がないと、「納得できるな」という風にならない。
- ・計画当初当時の防火基準と今の防火基準とは違う。
- ・計画を止める勇気が大事だと思う。
- ・計画を実施する前提で話をするのではなくて、止めることも選択肢の一つだ。

- ・誰にとってメリットがあるのか。後付けの理由をなぜ我々が考えなければいけないのかというような気がする。
- ・今の計画では建替え時に何も補助が無ければ今ある色んなお店が自力で全て建替えなければならない。それは本当に自力だけで良いのか。建替え時に区が何らかの補助を出したりなどするのか。
- ・今回の場合、商店の方達にとっては自ら建替えたいと思って建替えるわけではないが、何らかの補助が区から出るという道はあるということなのか。
- ・共同建替時の共用部はそれぞれの元のお店の方が入るというのは費用もかかるし現実的ではないと思う。マンションのディベロッパー等も入るということになると住民にとってはこの景観が変わってくることになるのでそれも含めてどういうまち、道路にしたいのかということ。
- ・杉並区全体、西荻周辺でもよく見て回るといふか、問題のある箇所を住民の目線で探し出すということがあってほしいと思う。
- ・荻窪の場合、ある種交通の間道となっている。運転者としては早くサーっと行きたいというところがある。例えば次の青梅街道から環八に抜きたいというときに、荻外荘のあるところの通りは対面通行で皆ものすごいスピードを出している。ガードレールはあるが、電柱もあるし危険。無電柱化との合わせ技で景観もきれいになるし、歩行者・自転車利用者も安全に通れるような可能性はあると思う。
- ・荻窪から天沼、阿佐ヶ谷の南など木密地帯があるし、そういう中でウォークブル・ノンウォークブルなところは結構あると思う。そういうのを一度探検するというのはどうか。
- ・盛り場をアンビエンスな場所づくりのために道路を開放するとか、なんかそういう方向性についている。長い道路全体を見るよりかはどこか拠点性を持って、そこだけは開放して歩けるような場所にしましょうとかもっと地場の色んなケースがあると思う。
- ・丸の内には人は住んでいない。あれは人を集めたいからやっている。西荻も人を集めたいとは思えようが、休みの日に色んな土地から人が集まってそこで賑わせたいというのは商店の人は喜ぶかもしれないが住民は恐らく喜ばない。
- ・商店の人も本当に人をあちこちから集めることを望んでいるのか分からない。丸の内のような賑わいの拠点ではなくて、わざわざ週末に快速が停まらない駅に降りて、歩きながら「あ！あった、あった！」みたいなそっちの方が西荻でお店をやっている人の感性には近いような気がしている。
- ・西荻好きに対してのマーケティング。誰彼千客万来ではないお店が多い。
- ・西荻は「西荻を好きな人」が来てくれるところ。好きな人だけ来ればいい、じゃないけれどそれぐらいのお店が多いのが西荻っぽい。
- ・一周遅れのトップランナーみたいな話で、みんなやっていることをやる必要はなく、同じじゃなくて良い気がしている。

- ・駅前一点豪華主義的にすると、あまり歩かないかも。西荻は結構お店が色々なところに散らばっていて、そういう回れるまちの方が好き。西荻らしい。
 - ・駅前という感覚があまりない。
 - ・ブレイクタイムで紹介されたような事例がこの道に相応しいのかというと、直感的にはなんか違うんじゃないかなと思った。
 - ・事例のようなものは、そこそこ広さがないとできない。
 - ・事例は素敵だが西荻にはいない。
 - ・西荻で紹介事例のようなものをやろうと思ったら、今の立ち退きの範囲では済まない。
 - ・ウォークアブルといっても色んなウォークアブルがあると思う。
 - ・外向きではなくて、住民中心のウォークアブルを。
 - ・本当にここで可能なのはわからないが、歩けるし、ベビーカーでもいけるし、ちょっと子どもが走ってしまっても大丈夫だし、自転車は自転車で安心して通れる、みたいなみちだと良い。
-
- ・今の道路だとあまり通過交通は入ってこないと思う。例えば青梅街道から五日市街道に西荻駅の目の前を通過して抜ける人はあまりいないと思う。道路が広がったらそういう通過するためだけに通る人は出てくると思う。
 - ・通過交通が増えるような道路整備はしたくない。
 - ・神明通りは信号がなく抜け道として朝、トラック等が使っているが、小学校の通学路のため、すごく危ない。駅前がそういう風になるのはすごく嫌だ。
-
- ・もしこの道路を整備するのであれば、無電柱化は絶対に必要。
 - ・上に電線が通っていると見栄えが悪いのと、安全性の観点から無電柱化は必ずする必要がある。
 - ・自転車は電柱を避けなければならないが、通過自動車もいるので危ない。
 - ・ガードレールは結構、左右の通行を阻害する。実はガードレールは道路計画上外すことができる。銀座通りでは実施されており、交通量はあるがガードレールはなく左右の往来がしやすいようになっている。
 - ・無電柱化・ガードレールを外すことが出来ればだいぶまちの雰囲気も変わる。
 - ・杉並区で無電柱化されている路線はほんの僅か。起伏・技術・予算的な問題はあると思うが、どうにかもっと進めて欲しい。
-
- ・西荻のまちは気軽に使える授乳室やおむつ替え室のスペースが極端に少ない。駅ビルがないことによって、まち歩きをベビーカーでするときには悩む。そういうスポットが駅の近くに1箇所でもあるだけでも安心感は違う。道路の拡幅に関わらず要望したい点。
 - ・ベビーシートは、お店の中にあるところが少ないのでそういったスポットがあると子育てにおいては心の安心につながる。
 - ・西荻の駅のトイレが少し前までは「トイレを使わせてください」と言えばそのまま入らせてくれたが、今は入場料を取るということで入りづらくなった。特に小さい子がいきなり用を足し

たいという風になったときにどうしようと思ってしまう。区が提供するユニバーサルトイレ・授乳室・おむつ替えスペースがあるようなスポットがあるとすごくみんな助かると思う。

- ・もしビル・マンションが建ったりしたときに、1階が商店じゃないとすると、そもそもの商店街っぽさがなくなってしまうというのはとても悲しいと思った。
- ・テンポラリーに、大きめのリヤカーや屋台のようなものでお店を出せるような、フレキシブルに商店街らしさを残せるようなデザインがあると良いと思った。
- ・自転車は軽車両なので車道を通る必要があるが、その法律は間違っていないか。交通量が多い中で車道を走れというのはおかしい。今回の道路整備時には歩道側に自転車道を作ってほしいし、自転車がスピードを出せないように色々な障害物を置くなどそういった工夫をすべき。
- ・自転車を環八のような交通量の多いところで車道の端を走れというのは車も自転車も危ない。
- ・これから人口が減っていく中で、まちづくりをどのように持続していくのかが気になる。
- ・区外からの立場で見ると、西荻はまちや道が魅力的なので、暮らしがみえるまちづくりがよい。
- ・今後の道路整備の進め方は、区民と区と一緒にやっていけるようなスタイルができると西荻らしくてよいと思う。
- ・行政が管理するだけでなく、団体や協議会が使い方を含めて連携していくというやり方だと町に賑わいがでる。参加した人達が形を作り一緒に関わっていくやり方、お願いするのではなく自分達で進めるやり方がおもしろいと思うので、住民にも力を借りて改修を進めていくようなモデルが西荻でできると、町の雰囲気がいいのかと思う。
- ・道路は人が暮らしていく上で、暮らしやすくするための大事なものだと思っている。安全かつ人々が楽しく触れ合う場、通過するだけかもしれないけれども、人が会って楽しく過ごせる場所だと思う。
- ・町の開発には、安全で楽しく西荻らしさを残るまちづくりができないかと考えている。
- ・今はとてもよい町だが、人口が減り、町はいつ衰退するか分からない。
- ・住民として、西荻の独特な雰囲気が変わるの嫌。
- ・道路拡幅によってどこまで変わるかは分からないが、西荻らしさをどのように残していくのかは関心がある。
- ・自転車乗りとしては、バスが通り、道が狭くて通りづらいので通らない。道路拡幅に伴い、自転車が多く通るようになると、歩行者は歩きづらくなるのではと気にかかる。
- ・サイクリストは走るのが趣味だが休憩できる場所も必要。他地域の例で、自転車利用者が駐輪できたり高価な自転車を外から見える店先に置いたりする商店街もある。みんなが楽しめる場所、自転車利用者が駐輪できるような場所もあるとよいのではないか。
- ・西荻の駅前には自転車利用者が休憩できる場所がそんなにない。ロードバイク利用者は、普段

は町からはずれたコンビニで休憩している。駐輪場を駅前に設置する必要はない。

- ・ 駅前の自転車利用者は、生活上の買い物に行く人である。
 - ・ ママチャリで駅前まで買い物している立場としては、スーパーだと気兼ねなく駐輪できるが、個人商店前だと申し訳なく思う。個人商店へは歩いていく。
 - ・ 荻窪や吉祥寺とは違う「西荻らしさ」を残してほしい。
 - ・ 30年の間に、駅前は全体的に寂れたという印象をもつ。道路拡幅の話が挙がってから、買収された土地や引っ越した人がいるので寂しい思いをしている。
 - ・ 個人商店が残る政策をする必要がある。
 - ・ 道路拡幅後、大きなマンションが建った場合、下駄履きで入れるような商店ができるのはニーズがあるのではないか。
 - ・ マンションの下に個人商店があるのも嫌。今のような店がよい。
-
- ・ Z世代や若い世代だと、昔ながらの古い店をリノベーションして小さい店を開く等、若い人達にとっては魅力的な素材なので、繋いでいくと、西荻らしさを新しく残していくと思う。
 - ・ 目黒で退職後に駄菓子屋を開いた知り合いがいる。西荻も夢をもった人達が実現できる町にすると楽しい。
-
- ・ 荻窪や吉祥寺と同じだとつまらない。
 - ・ 西荻には小さい店がある。
 - ・ 今だったらまだ変更、中止が間に合うと思う。
 - ・ 今の計画だと人気の坂本屋にも道路が重なっている。皆で助け合ってどうにかしないと。坂本屋だけの問題ではないが。
-
- ・ 荻窪のような自転車置き場を西荻に設置するのは怖い。車と歩行者が近い。
 - ・ 西荻の駅前に行く時には、危ないのでバス通りではなく一本隣の道を通る。歩行者、自転車利用者等が互いに利用する道を配慮すれば、今の道でよい。
 - ・ 自転車利用者としては、人のいない道を選んでいく。
-
- ・ 地域再生推進法人という制度があり、行政が指定して道路や駅前空間等をマネジメントしていく、行政と信頼できる地域の担い手の人達が一緒になってイベントをしたり、住民が店を応援したりする。
 - ・ ほこみち制度は、道路空間を歩行者天国にはできないが、地域再生推進法人等を使って周辺住民の意見を聞きながら休める場所を作る。
 - ・ 歩いて楽しめることが町の活性化に必要。最後は歩いて店に入る。
 - ・ 団体や区民が繋がりを作り、商店を残した西荻らしいスタイルを一緒に楽しんで作れるとよい。
-
- ・ 大久保の歩道は狭いが、道路拡幅せずとも無電柱化したところ、歩道が広がったように感じた。西荻でも道路拡幅せず無電柱化をしたい。できるのか。

- ・無電柱化にしなくても、商店に協力してもらい、電線を店舗の裏に通すことはできると思う。そうすれば、自転車やベビーカーが通りやすくなる。店舗の裏を使う。
- ・西荻は小さい店舗が残り、過ごしやすい道路にするという意見の中で、小さい店舗を残す人には建ぺい率や容積率等の優遇をしたり、マンションを作るとしたら下に下駄履きで入れる店にしたりするのは行政で実現可能だと思う。できることをやっていけばよい。
- ・インセンティブがあるかないかで違うと思う。残った店舗の住宅部分の建ぺい率や容積率を緩和して土地を有効利用することを協力してもらおう。道路を歩きやすくする中で一緒にできることだと思う。
- ・地権者や商店の人達が「都市計画として決めましょう」、「費用負担やインセンティブを組み合わせてここだったらできるよね」と決めることは一計画でできる。都市計画の中で、どのように残していくか資料を出しながら考える。観光関係はお金が出る。
- ・地域再生推進法人の例だと、申請は区がやり、民間の地域の人達が汗流して考え、職員の人達が説得させる。皆で作らしましょうよと法人がサポートしてくれる。
- ・活性化している町は、地域主導で行っているのが共通事項だと思う。
- ・今の計画だと、建ぺい率を上げたとしても営業はできるかという点と厳しい。営業ができなくなり、出て行ってしまう。同じ場所で営業できなくなったら元も子もない。かなり土地が削られてしまう。
- ・隣と共同し、調整して店を出すとしても簡単ではない。可能性としては考えられるが。
- ・道路を広げて高層の建物を建てるのは他地域で多く見られるパターン。
- ・現状、西荻の建物は高くない。もし高層の建物の一階に店があったとしてもすごく味気ない。魅力がない。
- ・低層の建物で抑える方法はないか。
- ・協定で結ぶパターンはある。高さや容積を決める。
- ・道路を広げて高層の建物を建てるパターンは多くあるが、低層の建物のまま保つ地域は少ない。もし西荻で実現できるなら、地域の人達にとっていいことである。
- ・ただ住んでいるだけではない。営業できるスペースが必要。
- ・防災面からみると、高円寺や阿佐ヶ谷よりも西荻は安全。安全だからわざわざ道路を広げる必要はない。高層ビルを建てて延焼を防ぐ考えは違う。
- ・行き交う時や交差点等は混雑していてベビーカーで前に進めないところが多い。アーケードを広くするところを設けるのはよいと思う。
- ・駅前の空いたところを広げて、安全でベビーカーを押す人達が歩けるゆったりした町にする。
- ・今、空き地が多くて寂しい。一時的にでも椅子を置くと過ごしやすくなると思う。
- ・空き地のままだもったいない。

- ・道路ができるまでに10年ほどかかるのであれば、残地をキッチンカー等で暫定利用をすれば喜ばれるしチャレンジするのはありだと思う。
 - ・公有地の暫定利用が認められる手法を考える。道路の公有地を借りるためには、行政への申請、警察許可が必要になる。
 - ・イベントで一時的に歩行者天国にするのではなく、道路や建物を有効活用し町の活性化に繋げる。買収の中途段階の今、空き地で寂しい場所を埋めるような仕掛けを行う。
 - ・永久的でなくても刹那、刹那に楽しめたらよい。
 - ・今の残地は寂しいだけでなく不安がよぎる。安全の問題だけではない。歯抜けのまま将来も続いていくのか。住民以外の歩行者も歯抜けの景観は不安。ベンチで休める場所にしたらよい。
 - ・コーヒースタンドやキッチンカー等で暫定的に使用する。もし好評だったら店ができた時に続けていくだろうし、学生ならば挑戦しやすくなる。
-
- ・道路が拡幅したときに、人が歩いたりたまったりする場を設け、車道をどれぐらい広げるのか。今の道路は行き交う場所だが、道路は立ち止まって過ごす場所だとも思う。
 - ・今、道を渡る時に交通量は多くない。道路を広げなくても大丈夫。
 - ・駅の南側を曲げる今の計画は危険。真っすぐに道を通してほしい。曲げるのであれば、道路を拡幅する意味はない。
 - ・なぜ道路を曲げる計画になったのか。昔、有力者がいたのか。安全面から見ると危ない。曲がった先は住宅地なので、今ある道を生かしたほうが曲げるよりよい。
 - ・あまりバスとすれ違わない。バスとすれ違って大変という印象はない。
 - ・今の道路だと、店の人が荷下ろしをする場所はない。
-
- ・住民がこうしたいと要望を言うことが重要。例えば、芝生でゴロっと寝転がれる道にしたい、小さな子供が安心してお昼を食べながら過ごせる場所ができたらいい、孫と一緒に過ごせたらいい等、沢山の要望を出したらよい。
 - ・自分がマイペースで歩けるくらいの余裕がある歩道がよい。年齢が上がってくると歩いて過ごす時間が増えるので。
 - ・西荻のアーケードは歩きやすい。もっとアーケードが広がれば、もっと歩きやすくなる。
 - ・歩くということは小さい商店に寄って買い物することでもある。
 - ・商店に寄れなくなったら、歩きたくない。
 - ・せせこましいところに商店があっても中に入りにくい。
-
- ・歩行者として自転車利用者として邪魔なのは車。三者両立させる道は難しい。
 - ・高齢者は車がないと町に行けない。
 - ・歩いて楽しい道は、車をある程度制限しないと実現しない。ただし、バスや緊急車両、住民の車は通れるようにしてほしい。
 - ・よく渋滞しているのは、女子大通りのセブンイレブン前の道である。
 - ・道が狭いと右折ができないので渋滞する。

- ・信号の間隔が短いと渋滞する。
- ・道路を曲げると渋滞し、排気ガスで空気が悪くなる。道路は真っすぐがよい。
- ・工事をすると長い期間、空気が悪くなる。税金を使ってほしくない。
- ・空き地に植樹してほしい。今はビニールシートで覆われている。
- ・花屋の鉢植えポットを空き地に置き、購入できるようにしている大宮の事例がある。収入を広報やサイン等に使用している。西荻でも個人商店の商品が置ける場所を提供して、子供や学生に試しに売ってもらう。
- ・道路拡幅予定地を実験場にする。空き地が寂しくなくなる。
- ・売りたい人にとっては最高の場所になる。
- ・店の中に入らないと商品が見えないのではなく、外の空間も生かし、売れたらお金が入り次の活動に繋がるパターンもあると思う。
- ・練馬区のように野菜の無人販売所がほしい。
- ・野菜だけではなく、おでんやフィギュアの販売でもよい。
- ・今川や井草に無人販売所がある。例えば、井草の野菜を西荻に運び販売するのもよい。
- ・子供や学生と農家を繋ぐと、社会貢献活動にもなる。
- ・スローフードやサステナブル、SDGsに繋がる。
- ・大学で子供たちを集めて、大学内をキッズニアにしたようなキッズビジネスタウンを行っている。西荻は個人商店が多いため、地域の子供とコラボして実施する。ミニ西荻タウン。子供は喜び、親はお客さんとして足を運ぶ。個人の商店で子供と一緒に売るのはよいと思う。
- ・イベントを行えば道路拡幅計画に関心のない人にも伝わる。自分は道路から離れたところに住んでいるから関係ないと考えた人、道路が広がっていいのではという人にも、自分のこととして考えるきっかけになると思う。見方が変わってくると思う。
- ・西荻の駅前近くの駐輪場は、ガード下の西友やサイゼリヤと少ない。
- ・駅前に行く時には、絶対に自転車を使用しない。停めにくいだろうなと思う。
- ・西友やライフ等のスーパーに歩いて行ける距離の西荻インナーシティの人達と、どこの商店街に行くにも自転車がないと生活ができないアウトシティの人達では、自転車へのニーズが違うかもしれない。
- ・自転車を最も必要としている人は、子供を送り迎えする人だと思う。あとの人はそんなに必要としている感じを受けない。
- ・自転車を駐輪場に停めるのではなく、店の前に停めることが多い。
- ・自転車利用者の対象を絞って考えると、利用する時間帯や曜日が分かってくる。車に遠慮してもらう時間が分かってくる。
- ・歩行者専用の道にするのであれば、駐輪場の設置が絶対に必要になってくる。
- ・駅前の通勤通学用の自転車とは違う滞留するための駐輪場が必要である。

- ・ 滞留するための駐輪場は、駅前である必要はない。
- ・ 街路樹と街路樹の間に何もないので、休める椅子があればよい。
- ・ まち歩きを終えて、川の周辺に坂道が多いと思った。
- ・ 高齢者にとって、休めるところがあると楽だと思う。
- ・ 人が集まる場所を作る、シーンを作るプレイスメイキングとしては、座れる場所を作ることや、溜まっている時にコーヒーが一杯飲めることが重要になってくる。ベンチをただ置くのではなく、座れるようになっている花壇の縁等、休める場所や溜まれる場所を意識的に作ることが重要。
- ・ 店で買って帰るのではなく、買った場所で楽しんでゆっくりする。
- ・ 座れる場所は、今あるものの形を変えるだけでも作れる。例えば、花壇の形等。
- ・ 吉祥寺の北口で、木の下でたい焼きを食べることがある。人が多くいる。西荻にも同じように休める場所がほしい。
- ・ 住民は買ってすぐに帰ればよいけれど、遠方から西荻に来た人はそうはいかない。
- ・ テイクアウト後に食べられる場所を考える。
- ・ 「たい焼きが温かいうちに食べられるまち」、「アイスが溶けないうちに食べられるまち」をキャッチコピーにしたらどうか。道路脇や歩道に休める場所があるとよい。
- ・ ベビーカーの利用者や高齢者が休み休み歩ける町がよい。
- ・ 計画でなくなってしまう場所かもしれないが、一時的でも使用する。「立入禁止」の札表示だけにしない。
- ・ 「立入禁止」の札を見ると、ネガティブな気持ちになる。大好きな花屋がなくなってしまった。
- ・ 工事中の看板に絵やメッセージを子供たちと考えると描くことはできる。町が変わりそうだなと、わくわく感がでる。
- ・ 工事現場だけではなく、空き地に緑のシルエットを置くだけでも違う。
- ・ 街路樹周りの椅子を設置する場合、絵を学生に募集して総合学習で生かすのもありだと思う。学生と一緒に西荻に関わってもらおう。
- ・ 子供向けや高齢者向けの椅子等、いろいろと考えられる。
- ・ 車椅子利用者も使えるユニバーサルデザインの椅子も考えられる。
- ・ 計画は進む前提なのか。
- ・ 計画にどれくらいの費用がかかるのか。道路拡幅ではなく、他のところに費用を使うとよい。
- ・ 多くの費用を使うのであれば、いいものを作ってほしい。
- ・ 拡幅対象道路よりも狭い道路はいっぱいある。なぜここの道路が対象なのかと思う。

- ・計画を進めるにしろ、まちを使い続けることには変わらない。今できることはいろいろとあると思う。
 - ・挑戦する場はあるが、現状は生かせてない。
 - ・空き地をちょっと使わせてもらえたら、この話し合いででたアイデアが実現できそう。お金をかけずに有志で集まればできる。町に元気がでる。
 - ・計画立案時と今では、地域の価値観が違っている。
 - ・計画の前提自体が変わっている。
 - ・70年代の人達の意見ではなく、次の世代の人達の気持ちを考えていく必要がある。
 - ・今使えるものを使って、今を楽しく過ごしたい。
-
- ・日常と非常の両方に機能する町、普段は快適でいざ地震や火事があったときは安全で安心なまちをつくるのがいい。
 - ・道路については、車が走るイメージがあるが、公共空間の一つとして捉える。例えば自転車が通れたり、何かお店みたいなものがあったりしてもいい。通行だけではなく留まる、滞在するという捉え方が必要。
 - ・プロセスについては、皆が納得して合意形成が必要。そのためにビジュアル化する。いろんなプレゼンテーションを、複数案について見せるのが大事。メタバースなども駆使して本当にこうなったらいいなって思うものを作るのがいい。
-
- ・西荻は他の駅と比べると珍しく静かで、快速も停まらない。今あるものを守るということも大事。
 - ・道路計画もまずありきでスタートじゃない。あの道路計画は30年以上も前で車がどんどん増えるだろうと言われていたころだったが、今は車がビュンビュン走る広さの道路が本当に必要なかどうか、まちづくりは道路以外にもやることいっぱいあると思う。
 - ・最近はまだ若い方は車を持たない。道路の交通量もあまり増えるということもない。多くの地区に比べるとやはり拡幅が本当に必要なのだろうか。車のために広げるということだけじゃないやり方が必要。
-
- ・杉並が大好き。60年近く住んでいるがとても住みやすい。障がい者で歩くのが困難だが皆さんに助けられている。お互い様の気持ちを感じられる。人作りが一番大切。
 - ・道路は本当にそれぞれ事情がある。一番問題なのは消防車救急車が入れるようにすること。
-
- ・まちづくりについては、近隣と仲良くすることが一番大事。
-
- ・新しいお店ばかりじゃなく古いお店が残る感じがいい。小規模の雑貨屋さんとかがすごくいい。どんどん新しいチェーン店にされるとちょっと悲しい。
-
- ・車を持ってなくて自転車で移動しているので、自転車にも少し優しいまちがいい。

- 地元の人、住んでいる人の意見を大切にされるべき。大きな企業とかお金持ちじゃなくって、元々いる方とかに教えていただけるような場所、子供たちから高齢の方までみんなの住みやすく使いやすい町がいい。
- 緑が多い方がいい。ヨーロッパはちょっと行くと森があったりする場所があり、憧れる。
- 西荻の雰囲気は好きで、いいところがあるが、自転車が通行しにくいとか、特に駅前には混雑しているとか、それから緑も少ない。改善するべきところがある。拡幅すればパブリックスペースが広がるので、その自由度が増える。公共空間を増やすことでいろいろな可能性が出てくる。Global Street Design Guide という本に元の良さを残しながら変えているヨーロッパの例がビジュアルで確認できる。
- 車のための道ありきじゃなく、もう進めざるをえないから終わりという議論じゃなくて、歩く人やお年寄りの方が一休みするようベンチとかがあったらいい。
- 極端な言い方をすると、大阪の道頓堀で道路全部を歩道にする計画があるぐらいなので、そのような歩く人たちに優しい道がいい。
- 中野駅の大きな広場でイベントとかをやっているが、荻窪や高円寺だと、原っぱ公園など駅からは遠い。ちょっとスペースがあればいろいろなところでイベントが出来て人も集まれる。
- ミニイベントを作っていくオペレーションは運営まで含めてやるといい。そうすると、参加者が自分ごとで捉えるので、出来てからもうまく使っていこうと考える。運営する人も区だけだとやはりしんどいと思う。民間もアイデアを初めから出せるといい。
- よくあるのが物を作ったけど、そのあと使わず作りっ放しみたいなこと。予算は湯水のようにあるわけではないので、どう使うか考えて作らないとならない。周りの方々が納得して使いたいという方が多いようなものじゃないとうまくいかない。
- 阿佐ヶ谷の高架下が綺麗になったのは残念。せっかく古き良き昭和感があってドラマの撮影などで誘致するなどいろいろ使えたと思うが、それを壊してしまったらなくなってしまふ。綺麗だが味が無い。やります、できました、と途中で意見を言えることもなく、気が付けばもうそうになっていたという感じ。皆事前にいろいろ話し合いできるのがいいと思う。話し合いを上手い形でどこか場所が変わったりしても活かせるといい。
- 駅前にチェーン店ばかりのどこにでもあるような感じになってしまうのは不安。拡張ありきではなく、何かしらのやり方や考えがあってやらないと、特に個人商店の方々には大事な点だと思う。広げるのが前提ならば、できるだけ以前と同じように残すことを考えないとなかなか雰囲気を残すのは難しくなる。
- バスはミニバスでいいのではないか。大型のバスは必要か？例えば少し小型バスにして、混んでいる時間帯は増発するなどすると少し道路の自由度が増す。大きいバスはゴツイ感じがする。バスの見直しをやってもいいのではないか。

- ・三井住友銀行の前がとても狭く自転車も歩行者もバスも危ない。
 - ・自転車があまり人を邪魔したりしないで走れるといい。
 - ・高架下が暗くて、もったいない。活用方法を考えたい。
- ・戎（店名）のところなど非常に西荻らしいが、ボヤが何度かあった。日常と非日常の両方に作用するみちということを考えるとやはり安全と衛生が大切。実際、消防車が入れない。良い雰囲気を残すのと、安全と衛生の両立は難しい問題。小さいスケール感で人が路上でも飲める雰囲気を残し、安心安全・衛生上の改良ができればいい。普通の再開発のようにすると本当に味がなくなる。小さいお店を残しながら再開発ができれば、とてもいい事例になる。
- ・問題があることは変えた方がいいとは思いますが、問題がなくみんなが幸せに暮らせるのにわざわざ変えるっていうのはよくない。変えた感を出したいだけのために変えるのは問題。
- ・安全面などが問題なのだろうか。全部変えなきゃいけないほどの問題なのかということもある。例えば救急車や消防車が道路を広げないと通れないというほどのことではない。デコボコした歩道を変えるにしても、道路を広げないと歩きにくいというわけではない。電柱を無電柱化するだけでも歩きやすくなる。
- ・自転車で配達する人が急いでいて危険だったり、駅前で信号無視したりすることも、警察が取り締まればいいのではないか。道路のせいということではない。
- ・通行のためだけではなく滞在する場所。そして非常時の対応。日常、非常時のフェーズにかかわらずフリーに使える空間づくりができるといい。普段はとても快適で存在に気が付かないくらいだが、いざというときはその非常時に役立つ機能があるような。
 - ・道の狭いところに消火栓が欲しい。すぐ初期消化ができるような。寄り付きスポットのようなところにベンチとか消火栓とかが見える形であるといい。休んだり、座ったりも出来るスペース。非常時に火を焚けるようなベンチなど、マルチ機能があつたらいい。
- ・自転車置き場が常に足りない。地下の駐輪場が駅の近くにあるといい。小さい店に来る人は自転車を止められない。駐輪場問題だけ取っても議論になりそう。区営なのか民間なのかなど。
 - ・バス通りに一般の車が路駐している。
- ・アーケードが暗くて歩きにくい。照明もあまりない。明るい感じにしたい。
 - ・個人の家が小さい駐輪場を提供してもらうのはどうか。
- ・空き家などのスペースを借りてレッスンやイベントを行うことはできないだろうか。スペースがなくて区の施設を使っているがコストがかかる。空いているなら借りたい。持ち主がいたりボロボロだったり課題はあるがポテンシャルはある。あるものを壊してお金をかけてやらなく

でも余っているものでできたらいい。

- コモンスペースを緑化する。
- いいお店を残しながら、さらに良くしたい。

- 道路を広げることに對して不安が高い。今の雰囲気を大事にしている方々が多いと思う。いろんな意見が出たが、道路を広げる選択しかないとなれば、一旦考え直すという方法もあるのではないだろうか。
- 広げることによっていろいろな可能性が増えるとなれば、今の小さい店も移ってもらって雰囲気も残るなど合意形成ができればいいと思う。公共空間が広がることは、まち全体としては宝になるという考え方もある。今の問題も踏まえて、きちんとプレゼンテーションをすることが大事。

- 大手の不動産屋さんが土地を買くと価格が上がってチェーン店しか借りられなくなる。結果面白くないまちができあがるきっかけになる。道を広げれば高いマンションも建てられるようになるので、駅の近くなどそういう流れになってしまう。車道が広がるだけで終わったら本当にそうになってしまう。小さい店を残すにはどうすればいいか。自転車で来やすいと、3キロくらい離れていても来られる。自転車を停めるところがあれば人が集まりやすくなる。

- 法律も含めた仕組みづくりが必要。
- 立ち退きする人、土地の持ち主だけでなく、利用者、事業主が関わっていくことが大事。
- 歯抜けの土地を生かし、管理して、自転車置き場、ベンチ、公園等に利用する。

- 区長選をきっかけに楽しみにして来た。

- 杉並区はバランスが取れているまちだと感じる。ご近所の人でもまちづくりを積極的にしようとしている人が多く活気も感じる。まちがごちゃごちゃしている様子も好き。今のまちのバランスを保ちながらゆっくり未来に進んでいってほしい。
- 息子や孫も杉並在住。教育的により良いまちになってほしい。
- 西荻はとても懐かしいまち。自由な雰囲気で難しいことについても自由に協議していてよいと子どものころから感じている。皆がまちづくり等について語っているのが大好き。

- 道路拡幅反対派。親の介護をしているが道路拡幅されると渡れなくなる。車が増えたら嫌だ。ずっと西荻だが賑わってほしくなくほどほどで良い。拡幅すると広いのにふさわしいものがないだけ込んでくるのが一番嫌だ。
- 西荻を好きでない人もある程度いて、そのような人は今回のプレストや道路拡幅も知らないのでは。そのように無関心である人も多いと思うが、そういうことをどこまでフォローできるか、この会の在り方として気になる。

- ・西荻にも色々あって、今通ってきたところでも住宅街と商店街では違う。拡幅は広いエリアに影響するが、それぞれ土地用途も違う。住宅街は外から変えるものではないと思う。住宅街はこれが良いと思って選んで住んでいるので。駅前を便利にするのと住宅街については話が違う気がする。便利の定義も人それぞれだし、皆が同じ考えでなくてよいと思う。
- ・駅前のバスが怖い。安全と商業はいつぺんに進めるとのっぺりとすると思うので、個別に判断してほしい。
- ・西荻っばい人たちが醸し出す雰囲気、マインドは以前から変わっていない気がする。
- ・雰囲気等が変わってほしくない一方で、世界はライフスタイルが変化しているのでマインドとのすり合わせは必要。そこに道路の問題も入ってきているので賛成反対の一言では語れない。
- ・12~3年前、西荻駅から久我山までのコミュニティバス「すぎ丸」ができたときも直前に知って驚いた。それがこのまちに来てからの一番の変化。バス通りの沿道住民で集まって話をしだした。お知らせもなく知らなかった。そこから道路の両側の住人が区と話をしたし、バスが走り出してしまったので速度オーバーなどしていないかチェックしている人もいた。バスも速度オーバーしていたし乗用車も前方車を追い越そうとしていて危なかったため警察とも話をした。そのような動きがこのまちでは自然発生しており、すごいなと感じる。何か変化があったときに集まって話しあえることがあってよい。
- ・スマホで駅前のカフェなどを探している若い女性もいるから、それはそれで外からどう思われているかわからないが、おしゃれなまちだと思われているのではないかな。
- ・区の情報は積極的に公開してほしい。バスが走るとしたらせめて2~3年前から言ってほしい。
- ・久我山行きのバスは朝など乗客が全然乗っていない。多くても6割くらいで少ないと1人か2人程度。赤字だと思うがそのようなデータも公開してほしい。
- ・拡幅賛成反対派などの割合も調べるべきだし情報公開してほしい。
- ・西荻のまちの変化をまだ感じられていない。親に聞くと当時に比べてしゃれた個人店が増えてきたと言っていた。西荻は居心地が良く大好きだが、自分が感じる西荻の良さは何十年も前から住んでいる人からすると、変わり果てた西荻を好きになっているのかもしれない。最近住み始めた方、昔からの方、休日にだけ来る方などがまちの良さ・不便などを日常会話としてできたら良い。そのようなことができることがまちづくりの要素として必要だと思う。会話できるスペースがあると良い。
- ・132号線のテーマがあったので、人生で一番、道について考えた。道路は淡々と利用するものだったが、道路はまちを作っているんだと感じていて、自分ひとりだけでなくベビーカー、杖を持った人、視覚障がい者などと話したりしたが、広くなったから安全と一概に言えないと感じ

るようになった。賑わいの観点で、いきなり拡幅してしまうと何もない期間ができてしまう。夜帰るのが怖い場所が出てくるといった話もある。なぜ道路が拡幅するのかといった話し合い、整理などが必要。道路は色々な要素があると感じる。

- 道路が広がって嫌な要素は、車が増えること。車を減らす社会は道路計画によってできるかもしれないし、せっかくだったらそのようにしてほしい。外環から流入が考えられるし、なぜそんなに車を増やしたいのか。
- 段差、電柱、駅前の整備はしてほしい。予算を適切に、問題を個別に解決して行ってほしい。
- 広い道路には高い建物ができる流れなので、それは避けたい。
- 他の箇所では道路拡幅により、駅前の南口の飲み屋街のようなものもなくなっている。残ってほしい。
- 拡幅工事に賛成か反対か言われれば反対。車は乗らないためその目線は持っていない。小さい子どもがいるため、ベビーカー目線。北銀座通りも歩道が狭いと自転車が怖いし段差が不便に感じる。お母さん方だと段差を乗り越えるためにベビーカーを持ち上げるのも大変だと思う。その面からするとより平坦で広い道路の方が便利だがあらゆる道路がそのようになってほしいわけではない。色々な道路がベビーカー向けになると殺風景になると思う。例えば南口の飲み屋街はのっぺりしてほしい。ベビーカーは通りにくくても良いからそのまま残しておいてほしい。道路がこうになってほしいという答えはないが、道路を作ったり守ったりするための要素はどのようなものがあるかをもっと取り込んでいきたい。
- 4～5年前神明通りにレンガ色の歩道ができた。とても良いことだと感じるが、区はなぜそのような良かった意見を収集しないのか。良かったことを開示して次の道路づくりに活かすようにしてほしい。そのような視点が今はないように見受けられる。
- 132号線にはライトはあるが道は暗い。拡幅したら車は走りやすいだろうが、照明のことなど複合的に物事を考えないといけない。道路はライフラインなので先の見通しがいいまま拡幅されることが不安。ある程度の人たちから、便利になる・安心だという思いを引き出してからやらないといけないと思う。
- 不安は車の速度オーバー、排気ガスの増加。拡幅でマンションができたり、不動産屋が潤うだけではないかという猜疑心がある。
- 拡幅するなら自転車専用道路がほしい。線を道路に表示してあればよいというものではない。
- すでに立ち退かれた後の空きスペースを有効活用したい。例えばいろんなアーティストを呼んで月一くらいでフリーマーケットをやる。他には都市農業をやっているかたのマルシェや、他自治体がやっているような選挙マルシェを行い、「こういう方が立候補している、こういう公約を掲げている」といったものを知らせるのも良い。また、ベンチを置いてお年寄りの方が休め

- るようにするなどの空きスペースの活用を思い浮かんだ。
- 空きスペースがこのままではもったいない。
 - 全体的に、杉並・西荻の現状を気に入っている。将来に向けて変えていくなら、空きスペースの活性化よりも、花を咲かせる、球根を植える活動を通して地域の人のコミュニケーションが活性化すればよいと思う。そこを区で管理してもらえれば。
 - 丸の内のような人工的なみどりは好きではない。
 - 西荻で花等枯れてしまっているときも見るが、それはそれで自然な感じで良い。
 - 西荻は下町ではないがごちゃごちゃしていて、人間が住んでいるんだなという感じがして良い。
 - 空きスペースの話は気になっていて、仕事で夜中帰らないといけないときに寂しいのが嫌で、「工事中」といったものは物騒な感じがする。拡幅するにしてもそういうところは作らないでほしい。東京女子大の学生さんと話す機会があり、そういうのは怖いと聞いた。毎日やらなくて良いから空きスペースでは「何かをやっている感」の雰囲気継続してほしい。そうすれば「活用している場所」という空気感が出てくると思う。色々な方が入れればそんなにお金もかからずスペース利用ができると思う。最近所沢でも、マルシェなどの空きスペースの活用をやっていたが、自然な感じでまちが埋まっている感じがしてよかった。ずっとやっているところ近所の人にはうるさかったりするかもしれないが1日、2日だったら良いといった塩梅でやっていた。道路工事など何か手が入った間も人の気配があればまちの安全などに繋がると思う。
 - 宅配業者等が駐車スペースに困っていてきちんとやればやるほど悩みが増えている。そういう方が安心して仮止めできるようなスペースを作り、そこから台車などで移動してもらえれば。停まっているトラックが怖いと思っている人も解消されるし配る方も安心して仕事ができると思う。
 - それはとても良いと思う。道路の路上駐車もなくなり、住宅街にトラックが入ってこなくなり住宅街も安全になる。
 - よく紹介されるウォークアブルシティの実例は大都会用で現実的なものでない。
 - 杉並が先進的な住宅街版のウォークアブルシティの実例になれば。
 - 北池袋公園は綺麗になったと思ったが、商業施設を公園に入れるなどといった問題が出てくる。まちを商業優先にされるのはまっぴらごめん。西荻は住宅街なのでそれは守りたい。
 - 変えていきたいことでいくと、ライフができたときにコミュニティスペースになればよかったと思った。児童遊園等も暗いので公園を作るなら電気を付けてほしい。避難所にもなる。
 - 駅前のバスが危ないからなんとかしてほしい。駅前の再整備にあたってはマイロードの高架下の商店街に空き店舗が多いので公共空間として有効に使ってほしい。例えばバスの交通広場に

したら雨に濡れずに行ける。その他変な形で残っている施設等を整備するだけで駅は良くなると思う。

- ・伏見通りの方が危ないのでなんとかしてほしい。狭い中バスが通る、歩道がない、配送車が停まっている等で怖い。怖いのあるから駅前の北口の戎の前から出てくる人たちがバスの前後を横断するという問題になっている。住宅地と人間の動線からしたらバスに退いてもらわない。
- ・先進的な人間優先な住宅街版ウォークアブルシティを作ってアピールできれば。どこもやっていないからやった方がよい。
- ・まだまだまちの問題を拾い上げてまとめられていない。
- ・住宅街の現状に満足。交通のことと繋げて言うと危ない道は通りたくない。日常の利便性的に伏見通りを通るのが嫌。歩き、自転車でも。自転車も停められない。
- ・バイパス化するような交通の在り方に疑問。近所の駐車場で宅配業者が荷捌きをしているがダメだと思う。その会社の車もすごく通るし他の人も嫌に感じているのでは。
- ・宅配業者の件は見過ごしてはいけない要素だと思う。住宅地だからこそそのような問題は多いと思う。
- ・今のまちには大資本には入ってきてほしくない。個人店が営業しやすい環境だと思うので。道路が広がり、車が入ってきてやすくなると、個人店が撤退せざるを得なくなるような大資本が入ってきてやすくなると思うが、そうはなあってほしくない。
- ・まちが狭くて心地良いため個人店が営業しやすいのだと思う。個人店の取材をすると駅前のカフェが週に3回ほどしかしていない店もあったが、そのように店を開きやすい雰囲気がある。住民も受け入れている。意思を持って自由にやっているのが西荻の良さ。
- ・拡幅後のイメージ模型を見たが、広がって安心というより、あの店がなくなってしまうんだと感じた。大学生に西荻の案内をしていた時に、ちょうど知り合いの店主と挨拶をしあったら、その大学生から「そういうのいいですね」と言われた。拡幅されると道路向かい側の人のコミュニケーションも難しくなる。
- ・快適性は担保されないといけませんが、西荻にとっての快適性はある程度密度があつてのものだと思う。
- ・拡幅されると道路を渡りにくくなるので商店街としてマイナス。向こうの店に行ってみようと思った時に渡りにくくなる。
- ・歩行者優先なので信号もとても少ない。基本的に車が少ないのに拡幅するというのが問題。
- ・拡幅後の状況しか知らない人からしたら「まちとはこういうものか」になる。そのような人たちが今後行政等に入ってくるのも良くない。闇市もなくなり復活しても違うようなものになるのでは。

- 学生などもまち案内のパンフレットを持ちながら楽しく歩いている。そういったことがなくなったら大損失だと思う。
- 地価の資産価値が上がることは本当に良いことなのだろうか。後から入ってきにくくなる。
- 若い人たちも西荻に来た時マップを持ちながら楽しんでいる様子でインスタにあげている。わざとらしい作りだったり、チェーン店とかだったらそうではないはず。
- 吉祥寺や他のまちと同じになる必要はないと思う。
- (土日祝日は) 快速電車が停まらないのが自慢。

以上